民報あばしり
NO.1321
6月20日
発行所
日本共産党網走市委員会
網走市北八西三
TEL四三-四四五八
F四三-四四五七

議長に井戸氏（志誠会）副議長に金兵氏（民主市民ネット）松浦議員、文教民生委員長に

網走市議会は15日開会し、2年ごとの改選をおこないました。井戸氏を議長に再選、副議長に金兵氏がそれぞれ指名推薦により、選ばれました。

その後、常任委員会構成を会派代表者会議で行い、文教民生委員長には松浦氏が、総務経済委員長には小田部氏が選ばれました。

松浦議員は、「委員長になると委員会での質問が制限されますが、民主的な委員会運営を心がけて、市民の声が生かされる議会にしていきたい」と語っています。

常任委員会の体制　◎委員長　○副委員長

常任委員会	志誠会		民主市民ネット		共産	公明クラブ	同志会	無会派
総務経済委員会	立崎	古田	○山田	平賀（監査）	村椿	永本	◎小田部	栗田
文教民生委員会	○近藤	井戸（議長）	金兵（副議長）	川原田	◎松浦	澤谷	石垣	工藤

一般質問は22日から

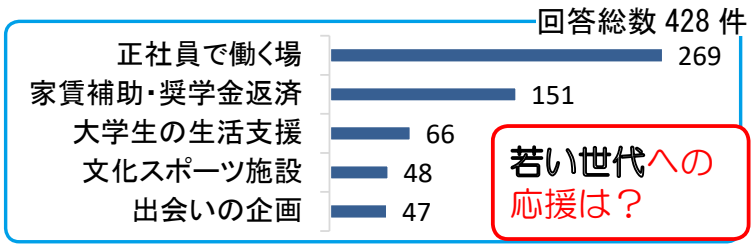
6月議会は17日から補正予算、条例改正の議案が審査され、18日の文教民生委員会では学校給食の請願などの審査が行われます。

一般質問は22日から行われ、11人が質問する予定です。

村椿議員は、①建設石綿給付金、②子宮頸がんワクチン、③市営住宅の活用、④学校給食の集約化について質問します。

松浦議員は、①国民健康保険制度②新型コロナ感染の影響と今後の取組について質問します。

村椿議員は3番目、松浦議員は7番目で、22日の質問になると思います。市民の皆さんの傍聴をお願いします。



全国の子どもの出生数が昨年58万人と5年連続で減り続け、網走市では約200人となりました。少子化と人口減少問題をどう解決していくかが網走市の課題だと思います。

子どもを安心して産み育てられる環境、若い世代の賃上げなど安定的に収入を確保できる雇用の場、育児休業制度の拡充、教育費の軽減、家賃補助などの経済的支援が必要です。

昨年共産党の市民アンケートでは、回答者の60％が「正社員で働く場を」でした。子育て世代への応援では15歳以下の医療費無料化が40％です。

小規模校の学校給食の集約化は、一旦立ち止まり、議論が必要です。子どもの名前がみんなわかって仲が良いなど小規模校には小規模校の良さがあり、不登校になっている子どもを歓迎できる環境もあるのではと思います。今、給食を集約化するのではなく、子ども達のことを第一に、人口を増やし地域を守るためにも、学校給食を生かしていくアイデア、取り組みが必要だと思います。

松浦さとし奮戦メモ！

6月議会が始まりました。今回の定例会は改選から2年が経過したことから議長、副議長をはじめ常任委員会のメンバーの多くが交代することにないます。

前期は総務経済委員会の副委員長を務めさせていただきましたが、後期は文教民生委員会に所属することになりました。世の中も議会も予期せぬことが起きるもので、結果として私が委員長になることになりました。期数と年齢は重ねていますが、何分にも力不足のため重責を担えるか不安もありますが、議員各位と理事者のみなさんのご協力を頂きながら全力を尽くしたいと思っています。

これからの2年間は、新型コロナ対策や学校給食問題など重要な課題に取り組まなければならないため、責任の重大さを感じています。また、委員長ということから委員会での質問は制限されるので大変ですが、議会としての役割を果たすために頑張りたいと考えています。

流氷

6年前に今の職に就いてから、毎月1回実家の母に荷物を送っています。それが私の楽しみ。さあ、今回は何にしようかな。お給料をATMでおろすと、お店へ直行です。▼75歳の母は、鳥取県の山あいの小さな集落で、一人で暮らしています。彼女はペースメーカーを持ち、スマホも車も持っていません。近所の方に野菜などをもらったり、雪かきをしてもらったり、いろいろ助けてもらいながら暮らしています。▼そのお礼をするのに、私の送ったお菓子を渡すこともあるそうです。また、時々近所の友達がひょこっとやってきて、一緒にコーヒーを飲むこともあるそうで、そんな時も北海道のお菓子はとても喜ばれています。▼母の口癖は「子どもが先、大人は後」。まずおいしいものは子どもに食べさせる。その教えを引き継ぎ、私も子育てをしました。子どものおいしい顔を見るだけでよかったのです。もし母もそうであったなら、お母さん、今はいっぱいおいしい物を食べてね。

かーこ